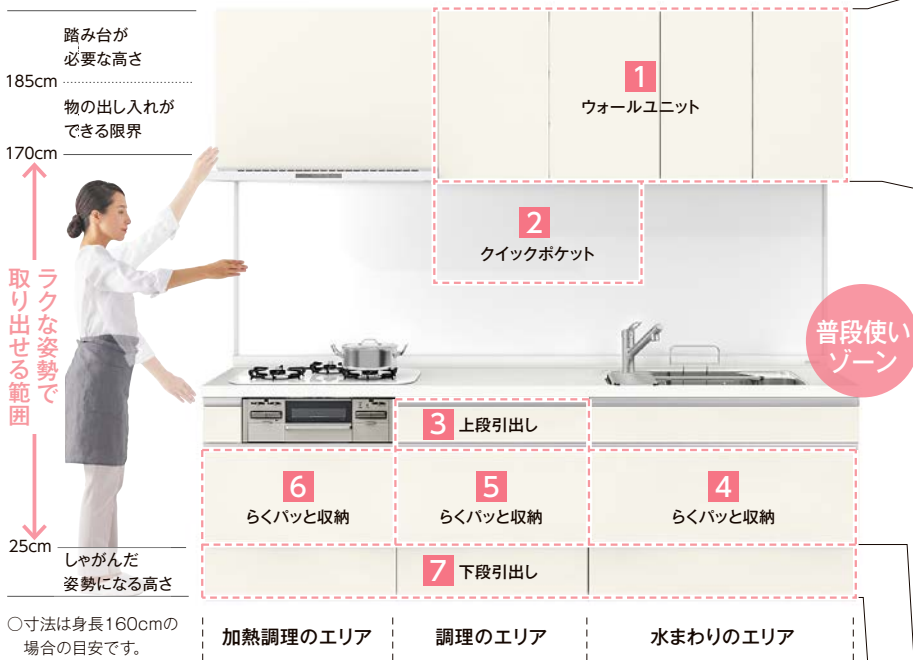


STEP 2

使う場所や頻度によって収納場所を考えよう (キッチン本体編)



1
ウォールユニット



2
クイックポケット



3
上段引出し



4
らくハツと収納



5
らくハツと収納



6
らくハツと収納



7
下段引出し



キャビネットを入れ替えて、使いやすさをアレンジできます。

ウォールユニット



ウォールユニットが普段使いの収納に変わるオートダウンウォール。



必要なときだけ、スッと下ろして使える2段の仮置棚、クイックパレット。



窓や収納量を考慮して、高さの違うウォールキャビネットを設置できます。

フロアユニット



背の高い物をしまうのに便利なシェルフなタイプ。



座って作業ができるオープンタイプ。



ワゴンなどがしまえるオープンタイプ。



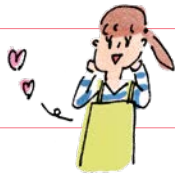
調味料がたっぷり入るスライドバスケット。



背の高い物の収納に便利な開き扉。



収納したまま炊飯・湯沸かしができる家電収納。



作業がテキパキ
はかどりますね!

リシェルS Iの場合

ときどき使う軽い物やストック品を収納



よく使う調味料はすぐ手が届くアイレベルに



いろいろな形の小物はトレーで整理



水まわりのエリア シンクや調理スペースで使う道具を収納



調理のエリア 調理スペースやコンロで使う調味料や食材を収納



加熱調理のエリア 加熱調理で使う道具やオイルを収納



ときどき使う重い物やストック品を収納

